

将軍山とは [About Shogunyama]

追手門学院大学の誕生地である茨木市安威地区の人たちは、本学が所在する丘陵のことを「将軍山」と呼び、昔から親しんできました。この将軍山丘陵には、古墳が点在して古墳群を形成しています。その中の将軍塚古墳は、大織冠藤原鎌足公の古廟と伝えられています。明治期

までは、10月16日に九条家(藤原北家の嫡流)により祭事を行っていました。今でもこの日には、例祭(大織冠神社祭)がおこなわれています。大化改新の中心人物であった鎌足公に係わる「将軍山」の地は、私たちが学び学友との絆を培った希望の丘なのです。



1966年頃の茨木安威キャンパスの様子。開学当初のため大学体育館、大学グラウンド、駐車場はまだない。中央の小高い丘に将軍山古墳が見てとれる。

大学所在地は小字名が無くなり数字表記となりましたが、旧は「将軍山」でした。

大学の所在地名 大阪府三島郡安威村字安威小字将軍山 ▶ 大阪府茨木市安威230番地 ▶ 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号

追手門学院大学校友会ホームページ



<https://otemon.org/>

追手門学院大学 校友会

検索



お知らせ&イベント情報

校友会に関する最新の情報や開催イベント、各地域支部のつどいの詳細などについてはこちらをご覧ください。

住所登録・変更

住所変更・改姓などをされる場合は、校友会HPの住所変更依頼フォームにご入力の上送信してください。FAXや郵便での依頼も受け付けております。

公式Facebook

校友会の情報発信や大学の最新情報のほか、大学・校友に関するメディア出演のお知らせをアップしています。

卒業生投稿コーナー

ご自身の近況をはじめ、勤務するお店や会社の情報、同窓会企画など、様々なことを投稿できるシステムです(事前登録制)。

追手門学院大学校友会公式SNS!

校友会のホットなニュースを随時更新中!

追手門学院大学校友会の日々の情報やイベント告知・報告などをツイートしています。皆さまぜひフォローしてください!



アカウントのフォローはこちら!

追手門学院メールマガジン

毎月2回発行! 学院、校友会山桜会、大学校友会の最新情報、活動情報など有益な情報を配信していきます!

こちらからぜひご登録をお願いします!



近況求む!!

皆さまのご活躍されている様子を教えてください!

追手門学院大学の卒業生の多くが日本各地でご活躍されている中、校友会が把握できているのはその一部でしかありません。卒業後お引っ越しされた方、起業された方、その他どんなことでも構いません。ぜひ皆さまの近況を下記連絡先までお知らせください。

※ご連絡いただける際はお名前・学部学科・卒業年も併せてお教えいただけますようお願いいたします。
※お送りいただいた個人情報は法令に基づいて厳重に管理し、卒業生が関係する事業以外には使用いたしません。

追手門学院大学校友会 事務局

Tel. 06-6943-8400

E-mail. ogu.koyukai@otemon.ac.jp



編集後記

記念すべき100号となる本号より、大学の生誕地「将軍山」の名前を会報タイトルに復活させていただきました。若い世代の方にも親しんでもらえれば嬉しいです。この会報を通じて、より多くの卒業生が「つながり、ひろがり、もりあがる」ことを祈念いたします。

官浪 伸次(9期生 経経)

次号の『校友会会報第101号』は、2025年3月頃発刊予定です

将軍山

100
2024 Sep.

Shogunyama

「学長×会長対談」

第2の開学がはじまる。

SPECIAL FEATURE

会報とともに振り返る歴史
真銅学長×生川会長 特別対談
総持寺キャンパスに新校舎誕生!

REGULAR CONTENTS

- 2024年度校友大会 開催報告
- 支部だより
- 校友会イベント 開催報告と告知

MAGAZINE TITLE

題字「将軍山」書道部紫水会2024年度部長 大澤貴史さん

100号
記念特別号

会報とともに振り返る

追手門学院大学と 大学校友会の歴史

1973年に「将軍山会報」として創刊された校友会会報は、今号で第100号の節目を迎えました。

モノクロからカラーへ、新聞形式から冊子形式へ、時代とともにスタイルを変えながら、校友の皆さんに

校友会の活動や母校のトピックなどを伝えてきました。これからも皆さんに親しまれる誌面づくりをめざします。

*年表の詳細は「追手門学院大学校友会50年志」に掲載されていますので、ホームページをご覧ください。

*記事の詳細は「校友会会報 縮刷復刻版」に掲載されていますので、ホームページをご覧ください。

西暦	元号	学長	会長	卒業期	会員数	会報の特集記事
1966	昭和41	初代 天野 利武	初代 関 謙二			開学(学院創立80周年記念事業)1期生入学
1970	45			1	352	1期生卒業
1971	46			2	854	同窓会「将軍山会」発足
1972	47		3	1,389		
1973	48		常任 理事会 議長 鶴 毅	4	1,966	創刊号発行「将軍山会報」
1974	49			5	2,693	
1975	50			6	3,419	会費徴収について学友会と協定・調印
1976	51			7	4,169	総会に500名が集まる
1977	52			8	5,068	校友会旗のお披露目
1978	53			9	5,962	宮本輝氏の寄稿文
1979	54			10	6,871	
1980	55	11		7,859		
1981	56	3代 中村 秀	2代 関 謙二	12	8,838	初代学長天野先生の訃報
1982	57			13	9,751	総会は母校で
1983	58			14	10,719	第17回 将軍山祭
1984	59	4代 奥田 順一		15	11,745	
1985	60			16	12,726	なつかしの学び舎へ！総会案内
1986	61			17	13,702	大学創立20周年祝賀パーティー
1987	62			18	14,770	
1988	63			5代 大藪 壽一	19	15,602
1989	平成1	20			16,504	三者懇親会開く
1990	2	21			17,592	
1991	3	22			18,777	開学25周年記念事業を計画

創刊号

将軍山会報の創刊を
心から喜ばれますが
ご対応いただき 天野 利武

創刊号

3号

3号

5号

5号

8号

8号

32号

32号

35号

35号

39号

39号



創刊号



3号



5号



8号



32号



23号



35号



39号

西暦	元号	学長	会長	卒業期	会員数	会報の特集記事
1992	4	6代 後藤 幸男	2代 関 謙二	23	19,944	東京支部が誕生
1993	5			24	21,204	
1994	6			25	22,447	きんしゃい！九州沖縄支部
1995	7			26	23,718	被災された方々、会員のみなさん
1996	8			27	25,028	校友会も大学30周年祝賀会を開催
1997	9	7代 戸塚 登	3代 平野 昌雄	28	26,562	新会長を選出
1998	10			29	27,886	
1999	11			30	29,220	
2000	12			31	30,648	ホームカミングデーを新食堂で開催
2001	13	8代 後藤 幸男	4代 小坂井 俊夫	32	32,163	新会長を選出
2002	14			33	33,532	
2003	15			34	35,041	学院120周年記念事業始まる
2004	16			35	36,561	
2005	17	9代 鈴木 多加史	5代 平野 昌雄	36	38,007	宮本輝ミュージアム構想
2006	18			37	39,346	ホームカミングデー開催
2007	19			38	40,684	
2008	20			39	41,972	将軍山会館に決定！！
2009	21	10代 落合 正行	6代 林田 隆行	40	43,290	新しい顔 新1号館完成
2010	22			41	44,639	上海万博に母校が参加
2011	23			42	46,070	
2012	24	11代 坂井 東洋男	7代 藤尾 政弘	43	47,525	オリンピック初出場で大健闘
2013	25			44	48,919	校友会の発展と再生を願って
2014	26			45	50,241	
2015	27			46	51,607	女子ラグビー大学日本一！
2016	28	12代 川原 俊明	8代 生川 紳一郎	47	52,913	大学創立50周年記念
2017	29			48	54,303	追手門学院大学に新キャンパス誕生
2018	30			49	55,691	追手門学院創立130周年
2019	令和1	13代 真銅 正宏	9代 関 謙二	50	57,165	アラムナイライブラリー&校友ラウンジ
2020	2			51	58,580	追手門万博開催報告
2021	3			52	60,225	校友会の歴史を振り返る
2022	4			53	61,869	結成50周年記念式典・祝賀会
2023	5			54	63,606	人が変わる。組織も変わる。
2024	6			55	65,569	あの日の笑顔がよみがえる



47号



45号



52号



50号



64号



70号



74号



86号



80号



93号



91号



98号



99号

「第二の開学」を宣言 追手門学院大学の今後に迫る

2025年4月、追手門学院大学は初の理系学部となる理工学部[※]を新設します。

総合大学として飛躍する「第二の開学」を迎えるにあたり、真銅正宏学長と生川紳一郎校友会会長が対談。

追大は今後どう発展していくのか、話をうかがいました。

総合大学となる追手門学院大学 なぜ理系学部が必要なのか

真銅：校友会会報が今回で第100号の節目に到達したと聞いております。

生川：はい。第100号を機会にこれまでの歩みをどう受け継いでいくか、改めて考えました。失ってはいけないのが校友会を立ち上げたときの初心と伝統です。今後、総持寺キャンパスが主体になっていくなか、我々の原点を忘れないためにも、今号から表紙に「將軍山」の文字を盛り込むようにしました。

真銅：伝統は守ろうという意識がなければ、すぐに切れてしまいますからね。

生川：2025年4月は追大の伝統のなかでも、学長が「第二の開学」と位置づけるほど大きな動きがあります。理工学部[※]の新設により、大学はどう変わっていくのでしょうか。

真銅：社会はすでに文系・理系の枠組みを越えた問題に対処できなければ、新たな創造ができない時代になっています。ところが日本の大学はどうか。学問体系がずっと変わっていないのです。本学はこれまで学部レベルでは理系分野の専攻を設置していましたが、大

学全体として文系も理系も理解できる学生を育てるためには、本格的な理系学部がどうしても必要でした。文理融合はもう古い。文理を超えた学問を展開していきます。

生川：やはり人間にとって大切なのはバランス。一つの知識ばかりではなくて、いろんな分野に興味を持つことで、人間の幅が広がっていきます。文系学部にも理系の情報が入ってくる環境で、学生同士の混ざり合いが起きることを期待しています。

異分野の組み合わせで イノベーションを起こす

真銅：やりたいのは、まさにそれです。例えば、理工学部[※]で最先端の研究に取り組む学生と、文学部で歴史文化を学ぶ学生がコラボをすれば、きっと面白いものが生まれるというのが私の発想です。新たな学問領域を打ち立てるのは難しくても、異分野の組み合わせでイノベーションを起こすことはできます。

生川：工事が進んでいる総持寺キャンパスの新校舎（Ⅱ期棟）には、その状況を促すユニークな仕掛けがあるそうですね。

真銅：従来の大学のように教室棟と研究室棟を分けるのではなく、教室と研究室を互い違いに配置するとともに、学部の壁も取り払った構造になっています。学生と教員がシームレスに行き交うハイブリッドキャンパスを実現することで、本学が掲げる「学びあい、教えあい」をより加速させます。



生川：私が会長になって打ち出した施策の一つが校友のリスクリング（学び直し）支援です。もう終身雇用の時代ではありません。転職などに必要なスキルアップのために、ぜひ追大に戻って学んでほしい。ハイブリッドキャンパスの混ざり合いに卒業生も加わっていけるよう校友会がサポートします。

真銅：大学で学ぶ人たちの多様性はどんどん進むはずで、本学としてもその流れに対応していきます。学生によく言っているのですが、大学4年間で学べることはたかがしれている。大学で身につけるのは学び続ける方法と習慣であり、一生学び続けた者が勝つと。

生川：次回のホームカミング・デーで先生方に講義をお願いしているのは、リスクリングのきっかけづくりでもあります。こんな興味深い勉強ができるのかと感じてほしい。追大の卒業生はいつでも母校に戻って学べる便利さを享受していることを強調したいですね。

「第二の開学」はブランド化を いっそう推し進める契機に

生川：改めて、「第二の開学」以降の追大を校友の皆さんに伝えてください。

真銅：大きくバージョンアップすると捉えていただければと思います。安威の地で生まれた大学ですが、メインキャンパスが総持寺に変わります。そのうえで理工学部[※]が新設され、これまでの人文・社会科学系の大学というイメージも変わっていくでしょう。本学の歴史のなかでも非常に大きな変革です。

生川：校友会の役割に追手門学院を広く発信していくことがあります。バージョンアップした追大を力強く発信してブランド化を後押ししていきたいと思います。

真銅：本学も校友会も、それぞれの立場でブランド化を推し進めれば、追手門学院大学総体としてブランドイメージが高まります。

生川：その通りですね。大学と校友会が同じ方向をめざすことは今後も変わりません。

追手門学院大学校友会会長

Narukawa
Shinichiro

Shindo
Masahiro

追手門学院大学学長

正宏銅



將軍山会館（校友会館）にて撮影



理工学部[※]の設置にあわせて開設する新校舎（Ⅱ期棟）

2025.4 理工学部[※] 新設

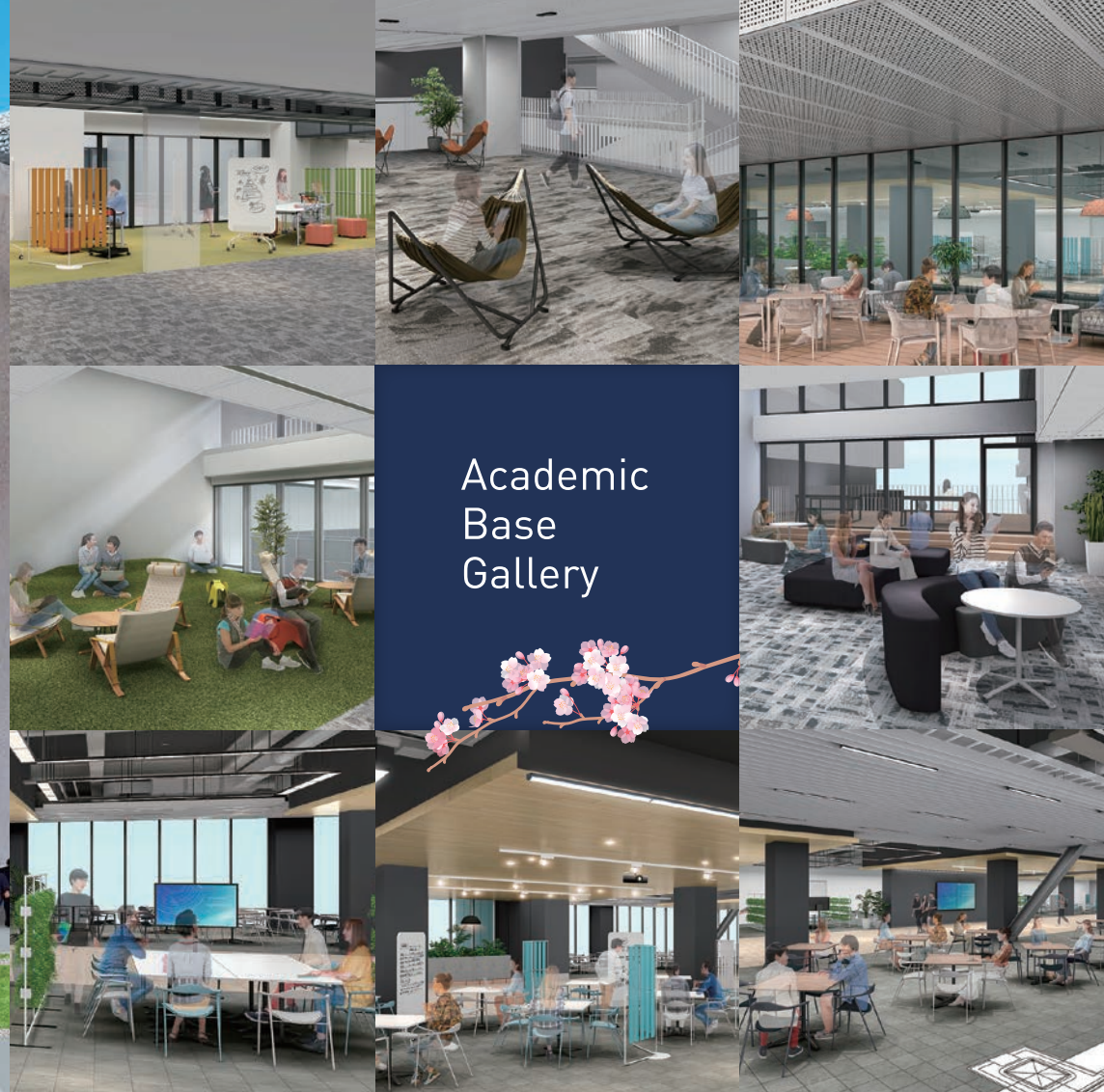
数理・データサイエンス学科[※]
機械工学科[※]
電気電子工学科[※]
情報工学科[※]

地上6階建て南北約250m規模で、1階部分には地域や社会との協働の場となるフリースペースと、600人収容のホールを設ける。2階～5階は中教室および小教室、研究室、自由に議論や発表ができる交流エリアを同じ空間に配置。6階には事務機能を集約配置する。

2025年4月

総持寺キャンパスに 新校舎が誕生！

地上6階建て高さ22m全長250mの大型校舎！



総持寺キャンパスに拠点集約し メインキャンパスとして動き出す！

新校舎名称決定！「**Academic Base** – アカデミック・ベース」

総持寺キャンパスのメインキャンパス化に向け、新校舎（Ⅱ期棟）を建設中です。全長250メートル・地上6階建てのⅡ期棟は、大学で学ぶ学生一人ひとりが社会へ飛躍するための「知の拠点・土台」となるように願いを込め「Academic Base（アカデミック・ベース）」と名付けられました。教室、研究室、協働空間（イノベーション空間）を一体的に配置し、分野の枠を超えてさまざまな活動が相互に触発される、これまでの大学施設の常識にとらわれない学びの空間を築きます。



学びの環境を特色分けた

静と動のフロア

教室や研究室を配置した2～5階には、教室と研究室を繋ぐイノベーションLABを配置し、さまざまな交流を促し一体的な学びの場を展開します。さらに、2・4階を「動のフロア」、3・5階を「静のフロア」というテーマのもと学びの環境を特色分けています。

静のフロア（3・5階）



全体的に落ち着いたトーンの什器・照明を設置。集中して課題研究に励めます。

動のフロア（2・4階）



明るく賑わいがあり、グループワークやICTを活用したプレゼン等に最適です。

理工学部新設

※ 2025年4月開設予定
仮称・認可申請中

学びの多様化をめざし文理を備えた総合大学へ

理工学部※を新設し学びの分野を広げ、文文学部、理文学部を有する総合大学へ。各分野の研究力の向上と複数の分野の融合により新たなイノベーションを創出、発信し続ける大学をめざします。

学科（入学定員）

数理・データサイエンス学科※（30名）

機械工学科※（50名）

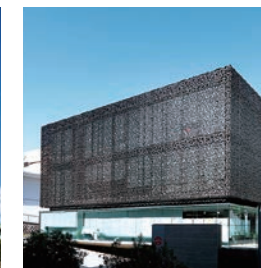
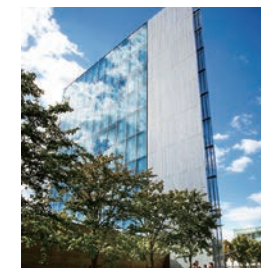
電気電子工学科※（50名）

情報工学科※（70名）

News

理工学部※開設で安威キャンパス
1号館を中心にリニューアル！

2年次以降、茨木安威キャンパスで専門分野を深める理工学部※の開設に伴い、1号館を理工学部※専用棟として最新の実験機材を導入。理系教育・研究の拠点として整備を進めています。（2025年11月頃完成予定）



2024 校友大会 懇親会



〔開催日〕
2024年6月30日(日)
梅田スカイビル 12:00~

2024年度の校友大会および校友大会懇親会を開催。例年の秋開催から時期を変更するとともに、初めて大学キャンパス外での実施となりました。校友大会では卒業生で関西長唄界初の人間国宝に認定された杵屋東成さんの校友会名誉会員称号授与式や、同じく卒業生のヤナギブソンさんの特別出演などで盛会裏に終了。懇親会では応援団・チアリーダー部の演技が会に花を添えてくれました。

校友大会の
当日の様子は
こちらで視聴可能!



最後はみんなで記念撮影!
たくさんの方のご参加、
ありがとうございました!



懇親会にはわたしたち
チアリーダー部も
出演させていただきました。

久しぶりの方にお会いできる
楽しみや、若い世代との関わりも
持てるので、校友大会に
参加できることは
とても充実感があります!

この度、名誉会員の称号を
授与させていただきました。
これからも一緒に校友会を
盛り上げていきましょう!

▲2024年度校友大会は、梅田スカイビルにおいて初めて大学のキャンパスから離れて開催いたしました。



追手門学院大学
校友会 会長
生川 紳一郎
(6期生 経営)

追手門学院大学
校友会 名誉会員
杵屋 東成
(石川 公一) さん
(4期生 文社)

〔校友大会〕
梅田スカイビル・ウエスト
22階 A会議室
12:00~

- 国歌斉唱
- 開会宣言
- 校友会長 挨拶
- ご来賓挨拶
- 来賓挨拶
- 名誉会員称号記授与(杵屋東成氏 4期生)
- 2024年度 基本方針
- 2023年度 活動報告(映像上映)
- 2023年度 会計報告
- 卒業生特別出演(ヤナギブソン氏 29期生)
- 閉会宣言

〔懇親会〕
梅田スカイビル・イースト
36階 スカイルーム1
13:30~

- 開会
- 校友会長 挨拶
- ご来賓挨拶・乾杯
- 歓談
- がんばる学生(チアリーダー部)
- 支部紹介
- 学院歌 斉唱
- 閉会挨拶
- 閉会



校友大会前日、6月29日(土)に 全国支部長会が行われました!

2024年度より開催時期を変更したほか、各支部から支部長を含め3名までの参加が可能になり、その成果が表れ例年30名に満たなかった参加者が41名に増加。各支部で新たな支部長、支部役員が誕生したことで、多くの意見や提案が出る活気に満ちた会となりました。終了後は東北支部設立の前祝いとして、東北の郷土料理店で懇親会を全員参加で実施しました。なお、今後は会の名称を「全国支部役員会」に変更予定です。



ホームカミング・デー 2024開催決定!



あの日の仲間に
会いに行こう!

卒業生と
そのご家族は
参加OK!

参加をご希望される方は、
Webフォームよりお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S24406573/>

【申し込み締切】2024年10月2日(水)17:00まで



日時 2024年11月3日(日) **場所** 追手門学院大学 総持寺キャンパス

お待たせいたしました!今年度のホームカミング・デーは、総持寺キャンパスにて、大学学園祭に併せて開催することが決定いたしました。たくさんの方にお集まりいただき、ホームカミング・デーと合わせて大学祭も懐かしくお楽しみ頂ければと存じます。詳細(各種催しの会場や具体的な内容など)については9月下旬に校友会ホームページにて公開いたします。今しばらくお待ちください!新校舎の完成が間近の総持寺キャンパスへ、この機会にぜひお立ち寄りください!

※各種同窓会への参加をご希望の方は、直接[連絡先]までお問い合わせください。 ※学生食堂や各種同窓会においてアルコール類のご提供はございません。
※今年度ホームカミング・デーは学園祭開催日にあたっており、自家用車での来場はご遠慮いただいております。当日は公共の交通機関をご利用ください。

SCHEDULE

OIDAIアラムナイ・カルチャー

大学の先生方による教養講座です。あの日を思い出して、Let'sカルチャー!

● 1時間目 10:30~11:30



「人生の転機を生きる—
カウンセリングの新しい考え方」
心理学部 三川 俊樹 教授

● 2時間目 13:00~14:00



「源氏物語って、
どこがすごい?」
文学部 水谷 隆 教授

アラムナイ・ラボ

校友会会員が講師として登壇。今回は「年金」のお話です。

● 14:15~15:00



「知って損はない年金のお話」(仮題)
二之段 直哉 氏
(28期生 文社 和歌山支部副支部長)

総持寺キャンパス寄席

11:45~12:30

落語研究会の現役学生による落語の寄席をお楽しみください。

落語研究会 コラボ
朝寝坊 心太さん
(あさねぼう しんた)
(経済学部2年生)

古希・還暦記念同窓会

15:00~16:00

古希(卒業8期(1977年卒))および還暦(卒業18期(1987年卒))の方を対象にした同窓会です。対象となる学年前後の方も参加可能です。この機会にぜひお集まりください!!

校友会地域支部物産展

10:00~15:00

校友会ホームカミング・デー名物! 各地域支部の支部長セレクトの名産品を販売します!

学生食堂体験

11:00~14:00

総持寺キャンパスの学生食堂を無料で体験!思い出の味はどんな味?(当日、ホームカミング・デー総合受付にてチケットをお渡しいたします(予定)。)



社会福祉部同窓会

▶ 14:30~

卒業期や年齢に関わらず、お気軽にご参加ください。現役部員も招待しますので、現在の活動の様子を知っていただくとともに、当時の様子をお話いただければ幸いです。

連絡先

矢島 秀和 (34期生 文ア)
info@yajima-hidekazu.com



考古学研究会美陵会

▶ 15:00~

去る6月の美陵会50周年祝賀会には、数多くのOBOGにお越しいただき感謝申し上げます。HCD2024にて、再びそして新たにお会いできることを楽しみにしております。

連絡先

越智 文章 (19期生 経経) 梶 浩二 (21期生 経経)
b_o_house@camel.plala.or.jp



ハンドボール部同窓会

▶ 15:00~

コロナ禍で控えていた当部OBOG会をHCD2024に合わせて開催します。現役学生と交流し、旧友たちと懐かし思い出話に花が咲くようにしたいと思います。

連絡先

土谷 健児 (23期生 経経)
k.tsuchiya@bikentec.co.jp



一般芸術局同窓会

▶ 14:00~

「一芸」と聞いて学生時代を思い出すアナタ! 1部: 総持寺キャンパスに14時集合。2部: 懇親会を阪急茨木「たむ」にて夕刻より。どちらかだけでも大歓迎です。

連絡先

田村 誠治 (26期生 華道部 ローズ)
kansaiosaka119@yahoo.co.jp ライン kansai119



東洋文化の会(学部同窓会)

▶ 15:00~

小規模学科でも楽しかったアジア関連学科の学生生活。わずかでも東洋文化の灯を絶やさないよう、どうかお気軽にHCD2024にお越しいただければ喜びの限りです。

連絡先

清水 弘美 (6期生 文東)
pesupesupesu414@yahoo.co.jp | 070-1791-9876



落語研究会OBOG会

▶ 14:00~

今年は総持寺キャンパスで現役部員の落語公演もあります。お楽しみの懇親会も茨木市内で開催。1部の総持寺キャンパス、2部の懇親会どちらかだけでも大歓迎です。

連絡先

朝寝坊 狐笑 (23期生 経経 人見能暢)
hitomi4_0214@yahoo.co.jp



陸上競技部OB会(追陸会)

▶ 14:00~

HCD2024において、陸上競技部OB会(追陸会)同窓会を開催いたします。ご参加いただける方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

連絡先

西川 洋 (6期生 経経)
river-park-83@vega.ocn.ne.jp



剣道部同窓会

▶ 14:00~

HCD2024に合わせ、剣道部OB・OG会総会を開催します。14:00からの実施となります。皆さまと総持寺キャンパスでお会いできることを楽しみにしております。

連絡先

山本 榮 (20期生 文ア)
s-yamamoto@leafplus.co.jp | 090-1078-3132



教員同窓会『Teachers meeting』

▶ 15:00~

本会は教員をめざす学生支援などを目的に2022年に設立。校友の後輩教員が教育の未来を創っていることを確認し、自分たちの活動を広げるためにもぜひご参加を。

連絡先

坂本 静泰 (16期生 経営)
右QRよりお名前、卒業年を記入し申し込み



社会学部ソキウス(学部同窓会)

▶ 14:00~

社会学部卒業生の皆さま、社会学部同窓会ソキウスを再開します。講演「追大社会学部のいま」もあります。ぜひご参加ください! 詳細・お申し込みは右QRより。

連絡先

足立 重和 (22期生 文社)
shadachi@haruka.otemon.ac.jp



※内容は一部変更する場合がございます。時間や会場の詳細は後日校友会ホームページにてお知らせいたします。

支部だより

ALUMNI ASSOCIATION REPORT

報告文提供元：支部支援委員会

奈良支部

**歴史ロマンに触れる講演会や
現役学生も交えた懇親会を開催。**



5月18日(土)、アクティ奈良にて開催しました。改正支部長らの挨拶の後、奈良市埋蔵文化財調査センターの鐘方正樹氏をお招きしての講演へ。日本最大の円墳を題材に当時の日本の姿に触れることができ、なかにはこの講演テーマに魅力を感じて参加したという校友もいました。現役学生も参加した中華料理店での懇親会は、席順もなく皆が盛んにテーブルに移動しながら交流を深めていました。

沖縄支部

**講演会では沖縄の実情を学習。
2次会は沖縄民謡で大盛会に。**



6月22日(土)、南西観光ホテルにて開催。総会に続いて行われた講演会は、地域創造学部・吉田佳世准教授による「シマから地元へ」。沖縄本島北部における小学生以降の何十年にわたる動向についての講演で、沖縄の現状を知る有意義な内容でした。その後は懇親会と2次会へ。沖縄民謡が聞けるお店で開いた2次会では、生演奏に合わせて皆が踊り出すなど、沖縄支部らしい楽しく、賑やかな1日でした。

九州支部

**新たな校友を呼び込むための施策も
決定。来年の目玉は熊本城観光。**



生川会長、玉井副会長も出席されるなか6月8日(土)、アクロス福岡にて開催。総会の活動計画・予算の報告では、つどいや懇親会の参加者に対する年齢・世代別の補助が審議・承認された場面があり、今後も支部のつどいに新たな校友を呼び込む熱意を感じる総会でした。懇親会、2次会、3次会は支部を30年導いてきた岩崎顧問紹介のお店で盛り上がりました。来年は熊本城を巡る観光を予定しています。

滋賀支部

**初参加者も多数来場。母校の近況
に接し、その躍進を誇らしく感じた。**



初参加の方も多くおられるなか7月6日(土)、ホテルポストンプラザ草津びわ湖にて開催。初対面の校友がお互いを自己紹介しあうなど、和気あいあいとした会になりました。宮宇地副学長による「追手門学院大学の近況報告」をお聞きして、総合大学へとさらなる発展を遂げる母校の躍進を参加者一同、誇らしく感じていました。最後に来年の再会を誓って学院歌を斉唱し、閉会となりました。

支部のつどいも盛んに開催中です。新支部の設立や支部長の交代など、各地域での支部活動に新たな進展がみられます。



徳島支部

**新支部長、副支部長が決定。
新体制をスタートさせる。**

7月14日(日)、和風ダイニング どまん中(徳島市)にて開催しました。今回の総会で一番重要な議事であった新支部長の選出・新役員の承認では、三浦正毅支部長、岡山勝一副支部長、白川孝枝副支部長が選ばれ、支部の新役員も承認。新体制となりました。参加者は20名を超え、美馬前支部長が発展させた徳島支部を三浦新支部長が受け継ぐなか、改めて我々の熱気を感じることができた時間でした。



新支部長ご挨拶



徳島支部長
三浦 正毅
(18期生 経営)

還暦という人生の節目の年に支部長を仰せつかり光栄に感じております。当支部では概ね年2回、懇親の場が持っており、世代や職種を超えた交流が広がっています。追大という、それぞれの方が青春時代を過ごした場所で繋がるこのご縁を末永く大切にして参りたいと思います。

京都支部

**新支部長、新役員を選出。
京都支部の新しい体制がスタート。**

7月20日(土)、ホテル京阪 京都 グランデにて開催しました。金政副学長の講演に続いて行われた総会では、最も重要な議題である新支部長・新役員の選出を実施。その結果、格畑文範新支部長を選出するとともに新役員も承認され、新体制となりました。懇親会では、初参加の方と田上特任准教授が引率した7名の現役の学生が自己紹介。そのトークに校友たちが歓声を送る盛り上がりを見せました。



新支部長ご挨拶



京都支部長
格畑 文範
(16期生 文社)

「追大」と「京都」、2つのご縁を大切に、会員相互の交流のための活動や「新・京都発見」など京都ならではの企画を提案してまいります。京都在住・在勤の方々はもとより、全国の校友会員の皆さまとも親睦を図るとともに母校の発展に寄与することをめざし、活動を継続して参ります。

京都支部「雅の縁」交流会－異業種交流－

「追大」と「京都」が築いた新たな「ご縁」 世代と業種を超えて交流を深めた

支部として初の試みとなる、京都支部「雅の縁」交流会－異業種交流－を3月2日(土)、ホテル京阪 京都 グランデにて開催しました。テーブルごとに自己紹介を行った後、全体にて一人1分のスピーチを実施。同じ追大卒業生でも年代が違ふと接点を持つのが難しいなか、同窓のご縁とつながりを実感することができ、新たな出会いが数多く生まれた有意義な交流会でした。



同窓会・イベント報告

教員同窓会 [Teachers Meeting]



2023.10.29

本会では自分たちの知見を高めるとともに、教員志望の現役学生を支援する活動などを展開。大学の行事である「合格者講演会」や学食での交流会に参加するなどして、若手教員や学生との対話に努めています。今後も立派な教員をめざす後輩たちを支援していきます。

第5期生卒業50周年同窓会



2024.03.30

コロナ禍で延期されていた5期生の卒業50周年記念の同窓会を開催。会場にはいくつもの輪ができ、学生時代を懐かしみ、尽きない思い出話に笑顔があふれていました。同じ会場での2次会では、時の経つのも忘れて、楽しいひとときを過ごすことができました。

ゴルフコンペ



2024.05.25

昨年まではコロナの影響で10月開催でしたが、今年から通常の5月に戻しての実施。そのため4組16名という小規模コンペとなりましたが、初夏を思わせる暑さのなか、年齢を忘れて皆で楽しくプレーできました。次回は多くの校友のご参加お待ちしております。

考古学研究会 [美陵会] 50周年記念祝賀会



2024.06.01

コロナ禍で1年遅れての開催。新顧問の先生や歴代レジェンドOB・OGが、北は北海道、南は沖縄から参加され、昔話や現況報告などで、和気あいあいとした楽しい時間に。祝賀会だけでは名残惜しく、2次会、3次会と繰り出す(4次会の強者も)素敵一日でした。

文学部英米語学文学科同窓会 (2期生)



2024.04.06

本会の11名で同窓会を行いました。コロナ禍の中断があり、久しぶりの再会。開学間もない追大での青春時代のひとコマ、ひとコマに戻って話が盛り上がり、楽しいひとときを参加者の皆さんと共有できました。健康で次会での再会を約束して、閉会となりました。

学友会本部同窓会 (32期～34期生)



2024.04.07

本会メンバーとその家族でお花見同窓会を4月上旬に実施。コロナ禍を経て実に5年ぶりの開催で、同窓生本人よりも子供たちの成長ぶりに皆さん驚いていました。今年は桜の開花が遅く、満開の桜のもとで懐かしい話にも花が咲く、とても充実した時間となりました。

陸上競技部OB・OG会 [追陸会]



2024.06.01

OB・OG13名と現役新旧幹部6名(今年の西宮神社の福男・高谷望巳君を含む)が集い、昨年度の事業報告と今年度の活動方針を発表し承認されました。懇親会では途中参加の創設時のOBをはじめ初参加のOBらの姿もあり、現役学生とも大いに親睦を深めました。

明德塾同窓会



2024.06.08

皆が集まれば、すぐに45年前にタイムスリップ。共同風呂、集会室、色々なパーティー、大学祭など、話題が尽きることはありませんでした。追大合気道部の活動も復活しています。現役生の支援を話し合う会として、今年の大学祭を訪問する計画も立てました。

書道部 [紫水会] 創部50周年の集い



2024.04.21

創部以来、初のOB会に1期生から50期生までの42名が参加。静岡県や愛媛県からも来場者がありました。在学中の合宿や入部の動機などの話題で盛り上がり、互いに現況報告を行うなど楽しい時間を過ごしました。次回は20期生を中心に運営されます。

軟式庭球部同窓会



2024.04.27

17期の幹事を中心に、その先輩・後輩の7学年で開催。出会うなりすぐに40年前に戻り、当時の思い出話であったという間の3時間でした。数年後に、心身ともに健康で再会することを誓い合ってから。 「縁」を大切に思い、つなぐ同窓会。最高のイベントでした。

吹奏楽団同窓会



2024.06.29

3期生から11期生の11名と33期生1名が集いました。演奏会、依頼演奏(茨木フェスティバル、中之島まつり、神戸まつり)、合宿、新幹線での遠征などが昨日の出来事のように思い出され、感慨深いひととき。また物故者の方々に黙祷を捧げ、冥福を祈りました。

バレーボール部同窓会



2024.07.14

コロナ禍による縮小開催を改め、今回は大々的に同窓生と家族を合わせて総勢32名で開催。関東や中四国からも参加があり、大学時代の思い出話はもちろん、夫婦円満の秘訣や子育てについて語らうなど、おいしいお酒を飲みながら、笑いの絶えない時間でした。

支部のつどい イベントのお知らせ

引き続き、さまざまな支部でつどいが開催されます。各支部の校友の皆さん、ぜひご参加ください。また、告知のイベントの中には校友の家族や友人の参加を歓迎するものもあります。この機会に交流の輪を広げてみませんか。

支部のつどいのお知らせ

ALUMNI ASSOCIATION

愛媛支部のつどい

日時	2024年 9月7日(土) 開会 12:30
開催地	松山市
会場	ネストホテル松山

翌9月8日(日)に、しまなみ海道のサイクリングを実施！

東海支部のつどい

日時	2024年 10月19日(土) 開会 18:00
開催地	名古屋市
会場	カフェ メノレ(JR名古屋タカシマヤ)

中国支部のつどい

日時	2024年 9月21日(土) 開会 16:00
開催地	岡山市
会場	総会：セントラルフォレスト 懇親会：和座ダイニング 胡白

和歌山支部のつどい

日時	2024年 10月26日(土) 開会 12:00
開催地	東牟婁郡 太地町
会場	総会・講演会・ランチ会：いさなの宿 白鯨博物館ツアー：太地町立 くじらの博物館

四国(香川)支部のつどい

日時	2024年 9月21日(土) 開会 11:00
開催地	善通寺市
会場	総会：旧善光寺偕行社 食事会：偕行社かふえ

高知支部のつどい

日時	2024年 10月26日(土) 開会 15:30
開催地	高知市
会場	総会：高知バシフィックホテル 懇親会：樹樹(じゅじゅ)

兵庫支部のつどい

日時	2024年 10月5日(土) 開会 13:00
開催地	尼崎市
会場	ホテルヴィスキオ尼崎

東京支部のつどい

日時	2024年 11月9日(土) 開会 12:00
開催地	中央区
会場	銀座松屋

イベントのお知らせ

[兵庫支部] 竹中大工道具館見学および 布引の滝巡り

日時	2024年 9月14日(土) 10:00~14:00
行先	竹中大工道具館 → 布引の滝 → みはらし展望台
料金	無料

兵庫支部の交流を深めるため、本イベントを開催する運びに。同館は日本で唯一の大工道具博物館で、消えゆく大工道具を収集・保存し、展示を通じて職人、工匠の技と心を後世に伝えることを目的とする、見ごたえのある博物館です。見学後、近くの布引の滝を巡るミニハイキングも予定。ご家族連れの参加も歓迎します。

[オール追手門] BBQ大会2024

日時	2024年 10月20日(日) 12:00~14:00
会場	“R”RIVERSIDE GRILL&BEER GARDEN (大阪・中之島)
料金	大人3000円程度 子ども料金あり(小学生以下)

学院を支援する同窓会団体として、校友会員およびご家族の皆さまに、校友会山桜会(追手門学院小・中・高等学校卒業生の会)の皆さまとの親睦を図っていただくバーベキュー大会を今年も開催。校友会員の皆さまはもちろんのこと、そのご家族、ご友人、先輩・後輩をお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

第4回ビジネス交流会 ~LinkAの集い~

日時	2025年 2月22日(土)
会場	KKRホテル大阪

各イベントの詳細やお申し込み方法は開催が近づきましたら校友会HPで公開いたしますので随時ご確認ください。

[京都支部&東洋文化の会の共同開催] 宇治散策(雅の縁ー光る君へを訪ねてー) 宇治のフィールドワーク

日時	2024年 10月12日(土) 10:30~16:00
行先	黄檗宗 萬福寺 → お茶と宇治のまち歴史公園交流館 茶づな → 宇治上神社
料金	3,000円(普茶弁当付き)・交通費・移動費

『源氏物語』五十四帖のうち最後の十帖は、『宇治十帖』と呼ばれ、主に宇治で物語が繰り広げられます。紫式部と親交の深い藤原氏が築いた歴史ある宇治を訪ねます。訪問場所は黄檗宗大本山「萬福寺」、「お茶と宇治のまち歴史公園交流館-茶づな-」、「(「光る君へ 宇治大河ドラマ展」観賞)、「宇治上神社」です。

[若手追大卒業生集合] USJ貸し切りパーティー

日時	2025年 2月8日(土)
会場	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
料金	大人5,000円 子ども3,000円

卒業後、概ね20年までの若手世代の同窓会として、一般には未開放となっているユニバーサル・スタジオ・ジャパンのパーティー会場を貸し切り、特別なショーとお食事を楽しみたいと思います。ご家族お誘いあわせの上、ご参加ください。お申込みや詳細情報につきましては、11月下旬に校友会HPに公開予定です。

ベストセラー作家を招いた昨年の「第3回ビジネス交流会」は大盛況のうちに終了しました。今回は、神戸経済同友会代表幹事でTOA株式会社取締役会長(6期生 経経)の井谷憲次氏と真銅正宏学長との対談を企画しています。同社をグローバル企業にまで躍進させた井谷会長の手腕や学生時代のエピソード、さらに追大生への熱い思い、追手門学院大学「桜みらい奨学金」創設のいきさつなどについて、真銅学長と語り合っていただく予定です。

入学式で校友会が
入学記念品を贈呈

2024年度入学式が4月4日(木)、大阪府立国際会議場にて挙行され、学部、大学院、編入生を合わせて2,422人が追手門学院大学に入学しました。校友会は新入生に入学記念品として「モバイルバッテリー」を贈呈。式に出席した生川会長が、新入生の代表者に目録を手渡しました。



追大卒業生が葵祭に
ヒロイン、斎王代を務める

京都の三大祭の一つ、葵祭のヒロインである第66代斎王代に追大卒業生の松浦璋子さん(55期生 心心)が選ばれました。松浦さんは祭りに前に身を清める「御禊の儀(みそぎのぎ)」に始まり、5月15日(水)の葵祭では十二単をまとい行列を彩るなど、無事に大役を果たしました。



「魔法のパンツ」井元社長を
生川会長が表敬訪問

株式会社バリュープランニング(神戸市中央区)の代表取締役である井元憲生氏(7期生 経営)を表敬訪問しました。「魔法のパンツ」と呼ばれる独自の婦人向けストレッチパンツを扱っており、第一線で活躍されている様子がうかがえました。今後ますますのご発展を祈念いたします。



校友会・追手門学院大学

NEWS & TOPICS

Otemon Gakuin University & Alumni Association News

卒業生の水野大阪府教育長
を生川会長が表敬訪問

2024年4月大阪府教育長に就任された水野達朗氏(33期生 文ア)を生川会長が表敬訪問。「大学の4年間で2人分の卒業要件を満たせるほど単位を取得した」「学籍番号は今もはっきり覚えている」といった学生時代の話に花が咲きました。水野教育長のますますのご活躍を祈念します。



元校友会会長の林田さんが
旭日単光章を受章

元校友会会長で追手門学院の理事・評議員を務める林田隆行さん(2期生 文社)が、令和6年春の叙勲において旭日単光章を受章。5月14日(火)、東京プリンスホテルでの叙勲・褒章伝達式の後、皇居へ参内、陛下に拝謁しました。経営者として中小企業振興に尽力した功績での受章でした。



おすすめ本をプレゼンする
大会で校友会会長賞を授与

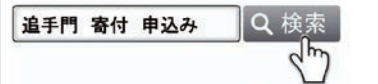
学長杯ビブリオバトル グランドチャンプ大会2024が7月22日(月)に総持寺キャンパスのアラムナイライブラリーで開催しました。予選を勝ち抜いた8人の学生たちがおすすめ本を手し5分間のプレゼンをし、戸田佳吾さん(経営学部1年生)が校友会会長賞を受賞されました。



PICKUP 追手門学院総合募金についてのご願い

追手門学院では、「独立自強・社会有為」を教育理念とし、園児・児童・生徒・学生の成長を第一に考え、世界で活躍できる人材、社会に貢献できる人材の育成をめざしています。とりわけ、大学では2025年の理工学部新設を総合大学に向けた新たな一歩とし『第二の開学』と位置付けています。追手門学院のさらなる飛躍のため、総合募金を通じたご支援をよろしくお願いいたします。

ご寄付のお申し込みはWebサイトから



- 総合募金のWebサイトにアクセスし、「**寄付お申込みフォーム**」をクリック。
- メールアドレス**をご入力いただき、届いたメールに記載されているURLにアクセスし、案内に従ってください。
- ＜寄付金額と使途内訳の入力について＞
この度は「第二の開学」に際してということで「事業の種類」は「**大学教育研究支援募金**」に特にご支援をいただければ幸甚に存じます。
- 確認事項についてご回答ください。
「追手門学院大学の総合大学に向けた理工学部新設」へのご支援は、大学教育研究支援募金の中の、「**大学学部教育・研究指定募金**」-「**理工学部(設置認可申請中)**」にてお受けいたします。
- 支払い方法をお選びください。**各種クレジットカード等**をご利用いただけます。(手数料は不要)

2024年12月31日までに**ご寄付いただいた方を対象に限定の返礼品をご用意します。**

返礼品はOIDAIオリジナルマグカップまたは小学校デザインマグカップとなりますので、ご希望の方は、確認事項のメッセージ欄にOIDAIグッズか小学校デザイングッズのいずれかをご記入ください。

※返礼品の発送は2025年2月ごろより、寄付申込に登録いただいたご住所へ発送いたします。※返礼品は仕様等が変更になる場合がございます。ご了承ください。

総合募金についてのお問い合わせ

追手門学院総務部総合募金係 TEL:072-641-9608 MAIL:gakuinkifu@otemon.ac.jp
※書面でのお手続き(払込取扱票による各種金融機関窓口でのご寄付)をご希望の方もこちらにお問い合わせください。

PICKUP 新評議員・理事就任のお知らせ

新評議員
について

会則26条並びに評議員選出細則に基づき、19名の新評議員を迎えまして、総勢149名の体制となりました。
山田久男(9期生 経経)、神代繁近(11期生 経営)、中川厚子(11期生 文英)、木村正人(12期生 経経)、伊賀博文(24期生 経経)、今宮真紀(25期生 文社)、高橋正佳(25期生 経経)、二之段直哉(28期生 文社)、山本英市郎(28期生 文社)、川上美保(30期生 営営)、山本幸男(30期生 人社)、橋本和則(38期生 文ア)、石田一博(42期生 国英コ)、高橋義就(44期生 社社)、森垣修平(44期生 経経)、山下貴弘(44期生 心心)、吉村建也(46期生 経ヒ)、徳山裕大(47期生 営マ)、奥田紗世(52期生 心心) 以上19名

理事就任
について

会則8条4項に基づき、評議員数149名の1/3の定数が49名となり、41名の理事から7名の新理事が就任して48名の理事となりました。
坂本静泰(16期生 経営)、人見能暢(23期生 経経)、田村誠治(26期生 経営)、行村隆一郎(26期生 経営)、帯田賢(31期生 経経)、秋吉崇仁(32期生 経経)、岩谷昌洋(33期生 経経) 以上7名